



静かなる

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL：0155（37）5501
発行日 令和4年4月14日

新入生を迎えて令和4年度がスタート！



対面式



4月8日、令和4年度入学式が挙行されました。

緊張した面持ちで入場した後、一人ずつ呼名された240名は晴れて本校の入学を許可されました。そして、新入生を代表して阿部雅央さんが、「仲間を大切に、切磋琢磨し成長していくこと」さらに「出会う人たちに感謝を忘れず充実した高校生活を送ること」を力強く宣誓しました。

週があけて11日には対面式を実施。今年度も全校生徒そ

ろっての対面とはなりませんでした。生徒会と3年次生を中心に感染症対策をした上での実施となりました。校長出張のため福田教頭と生徒会長から歓迎の言葉が贈られた後、校歌と応援歌の紹介、そして各部の代表者がそれぞれ工夫を凝らして部活動の紹介を行いました。

早速、放課後は部活動見学の生徒で校内は賑わい、活気にあふれていました。

令和3年度卒業生の進路結果を振り返って

前回この春の卒業生の進路結果を速報しましたが、その総括を進路指導部長の佐藤明彦教諭にしてもらいました。

令和3年度卒業生の進路実績は右の通りです。国公立大学合格者については、1クラス当たりの人数が14.0名と三条高校始まって以来の最高記録となりました。受験者に対する合格率も60.4%と10%近く更新して過去最高となり、大変素晴らしい結果となりました。その他の特徴として、例年より合格者が出た大学の数が多いこと、中・後期での合格率が非常に高いことが挙げられます。大学入学共通テストの平均点が大きく下がり、本校の生徒もその影響を大きく受けましたが、日頃より生徒自身が様々な大学を調べ、また担任を始めとする教員に進路相談をしていたため選択肢を広げることができ、そして何より生徒自身が最後まで粘り強く頑張った成果であると考えます。また、卒業生全体に対する四年制大学進学者の割合が77.6%（国公立大学に限ると34.5%）とこれらも過去最高となりました。

新しい大学入試制度も2年目となり、今後は一般選抜の他、学校推薦型や総合型選抜などより一層、大学ごとに特色ある選抜が行われることが予想されます。自分自身に合った選抜方法を選ぶことは勿論ですが、どの方法でも大学が求める人材にふさわしい実績と学びを経験していること、そして大学生活やその先において具体的かつ意欲的に取り組むビジョンを描けていることが重要になってきます。Cプロ等で自らの進路希望に基づく主体的な取り組みを早いうちから進めていくことが必要でしょう。

【主な大学合格者数】

北海道大	2名	東京海洋大	1名
旭川医大	2名	茨城大	1名
小樽商大	4名	島根大	1名
帯広畜大	7名	長崎大	1名
道教育大	16名	和歌山大	1名
室蘭工大	3名	釧路公立大	9名
北見工大	2名	千歳科技大	4名
弘前大	9名	札幌市立大	3名
千葉大	1名	名寄市立大	2名
金沢大	1名	日大	5名
信州大	1名	立命館大	4名
山形大	1名	青山学院大	2名

◇やるしかないです！！

3年次主任 後 藤 陽

先日、北京オリンピックに出場し、大活躍をしたスマイルジャパン期待の星、志賀紅音さん（10期生）が来校してくれました。史上初めて決勝トーナメント進出を果たしましたが、終わってからのLINEでは“あそこで勝つには、このままではダメです”試合直後から、次のオリンピックでのリベンジに向かって、目標を定め動き始めました。そんなスマイルジャパンのベンチに飾られていたチームスローガンです

“できるぞ！やれるぞ！やったるぞ！”

泣いても笑っても残された時間はあと1年。やるしかないんです。間違った努力をやっても時間の無駄です。2年間の失敗や経験を生かして、自分を信じてやってやりましょう。さあ、3年次スタートです。



◇「中だるみの学年」にはしない！

2年次主任 伊 藤 智 昭

昨年度に引き続き年次主任を担当します。よろしくお願いします。

今年度の目標は、高校生活最大の行事である見学旅行が楽しい思い出として残るものになるように、全力でサポートすることです。三条高校なのですぐ勉強の話に変わりますが、高校2年生はよく「中だるみの学年」と言われることがあります。そのようにならないように、朝の時間を活用して、学力が向上するような取り組みをしていこうと考えています。周りの人と波長を合わせて、遅れをとらないように学習していきましょう。

クラス替えがあり、不安な日々ではあると思いますが、力強い12人の新しい担任の先生方たちが、上手にみんなを引っ張ってくれます。一日でも早くクラスに慣れて、楽しい学校生活を送っていきましょう！



◇挑戦なくして成功なし

1年次主任 橋 本 賢

今年度から1年次主任を務めさせていただく橋本です。

100年を超える伝統のある三条高校で年次主任をする重圧に押しつぶされそうですが、BIGBOSSのように自分らしく生徒と関わり、生徒の高校生活3年間がワクワクするものにしたいと思っています。1年次回は新入生に前向きに学校生活に取り組み、自分の目標に挑戦し続ける。そんな3年間を過ごしてもらいたいと思っています。今年の新入生からGIGAスクール構想による1人1台端末の利用など新たな取り組みが始まります。私たち担任団も変化に戸惑う部分もありますが、生徒とともに新たなことに前向きに挑戦し続ける年次にしたいと思っています。よろしくお願いいたします。



インタビュー

三条高校で輝いている生徒を紹介します。

きらり

ハンドボール新人戦全道大会準優勝

3年4組 藤野のどか さん 3年6組 松本都花 さん



ハンドボール新人戦全道大会で見事、準優勝を遂げた女子ハンドボール部。今回はキャプテンの藤野さんと、攻守の要、ゴールキーパー（以下GK）の松本さんにお話を伺いました。

同じ幼稚園に通っていた二人ですが、高校で再会。中学では藤野さんはバドミントン部、松本さんはバレーボール部でしたが、一緒に部活動に入ろうと各部的の見学に行っていたそうです。そこで勧誘する顧問の橋本先生に出会います。もちろんハンドボールという競技は知ってはいたものの、やったこともなければ見たこともありませんでしたが、橋本先生の「高校から初めて大丈夫」という言葉と、実際にインターハイに出場したこともあるという実績に心を動かされ入部を決めたとか。「それにしてもなぜGK？」と松本さんに尋ねると、「新入部員全員がGKをやったのですが、橋本先生が『適性がある』と私に決めたのです」と答えてくれました。エースでキャプテンの藤野さんは、「松

本さんが一番後ろで大きな声を出して、的確な指示をくれる。みんなを盛り上げてチームの雰囲気をよくしてくれるのは彼女のお陰」と信頼を寄せています。一人一人がお互いのプレーに対して指摘し合うことで成長することをチームとして掲げているそうです。

全道大会も松本さんからの指示とともに前線へ一気にパスを出す速攻を得点源として、札幌新陽高校との決勝戦を迎えます。相手は私学の強豪校。一進一退の試合は決着がつかず延長戦へ。延長戦前半は1点リードして後半へ臨んだものの、最後は力尽きて1点差で惜しくも敗退しました。終わった直後は「ここまでできるんだ」という満足感と「もう少しで全国へ行けた」という悔しさが半々の気持ちだったそうですが、今は二人とも「決勝戦が一番楽しかった」と口を揃えます。新入生に向けて藤野さんは「初心者でも全道優勝を目指せるハンドボール部です。手の届くところにインターハイがあります。ぜひ一緒に全国行きましょう」と熱いメッセージ。松本さんは「キーパーは難しいけれど、相手のシュートを止めた時の達成感はたまりません。ぜひ後継者になってください」とPR。

月・金は新体育館、水は旧体育館、そして木は外のハンドボールコートで練習しているとのこと。ハンドボールに興味をもった人は練習を覗いてみてください！

